

令和6年度 第18回 小美玉市子ども議会



青少年を育てる小美玉市民の会
小美玉市学校長会

目 次

開催要項	1
議会日程	2
出席議員	3
説明のために出席した者	3
趣旨説明	4
市長あいさつ	5
市議会議長あいさつ	6
質問及び答弁	7
講評	24
感想文	25
当日の様子	34

第18回小美玉市子ども議会開催要項

1. 目的

次世代を担う子どもたちが、市役所の仕組みや仕事を知り議会活動の一部を体験することで、市政をより身近に感じ関心を高めると同時に、子どもたちから見た市政に対する意見や要望・提言などを聞き、子どもたちが参加するまちづくりに資する。あわせて、子どもたちが毎日の生活を顧みること、家族や社会の一員であることに改めて気づき、地域とのつながりを大切にする心を育て、参加する子どもたちの健全な育成を目的とする。

2. 主催 青少年を育てる小美玉市民の会・小美玉市学校長会

3. 名称 第18回小美玉市子ども議会

4. 期日 令和7年2月7日(金)

5. 会場 小美玉市議会議場（小美玉市役所3階）

6. 対象 市内小学校6年生・義務教育学校6年生 代表生徒

7. 実施方法

- ・議員選出 各学校に一任
- ・議長選出 議長2名

年度	前半	後半
平成30 令和元 2(中止) 3(中止) 4 5 6	納場小 小川南中 小川南小 美野里中 玉里学園(前期) 美野里中 堅倉小学校	橘小 小川北中 竹原小 玉里学園(後期) 小川北義務(前期) 玉里学園(後期) 羽鳥小学校

- ・質問方法 一般質問形式
一人一問一答方式で再質問は行わない。通告制とする。
- ・質問内容 自由

8. 参 考

- ・各学校から1名担当の先生を選出する。
- ・子ども議員の送迎は市公用車で行う。
- ・子ども議員感想文は、会議録と共に冊子にまとめて各学校及び関係者に配布する。
- ・子ども議員には記念品を贈呈する（議員証・証書ファイル等）。

9. 協 力 小美玉市・小美玉市議会・小美玉市教育委員会

第18回小美玉市子ども議会日程

議事日程 第1号

令和7年2月7日(金)
午前9時00分 開会

1. 子ども議会趣旨説明

2. 小美玉市長あいさつ

3. 小美玉市議会議長あいさつ

4. 自己紹介

5. 議事日程

日程第1 会期の決定

日程第2 一般質問

6. 講 評

7. 閉 会

子ども議員名簿

<後半議長>	1 番	羽 鳥 小 学 校	高 草 木 悠 斗
	2 番	羽 鳥 小 学 校	佐 伯 真 臣
	3 番	小 川 南 小 学 校	村 山 鳳 希
	4 番	小 川 南 小 学 校	戸 塚 大 智
	5 番	小 川 南 小 学 校	八 文 字 咲
	6 番	納 場 小 学 校	依 田 純 怜
	7 番	納 場 小 学 校	白 倉 緋 夏
<前半議長>	8 番	竹 原 小 学 校	佐 藤 テ ミ
	9 番	玉 里 学 園 義 務 教 育 学 校	小 沼 か え
	10 番	玉 里 学 園 義 務 教 育 学 校	樋 口 凜
	11 番	小 川 北 義 務 教 育 学 校	櫻 井 伶 音
	12 番	小 川 北 義 務 教 育 学 校	小 池 望 結
	13 番	堅 倉 小 学 校	長 岡 碧 衣
	14 番	堅 倉 小 学 校	栗 原 桜 志 朗
		竹 原 小 学 校	山 崎 好 夏
		羽 鳥 小 学 校	佐 々 木 雅 恭

説明のために出席した者

市 副 教 育 長	長 島 田 幸 三	福 祉 部 長	佐 々 木 浩
市 長 公 室	長 深 谷 一 広	産 業 経 済 部 長	倉 田 賢 吾
総 務 部 長	長 羽 鳥 文 雄	都 市 建 設 部 長	原 伸 行
財 務 部 長	長 滑 川 和 明	会 計 管 理 者	藤 枝 修 二
市 民 生 活 部 長	長 中 村 均	教 育 部 長	植 田 賢 一
保 健 衛 生 部 長	長 菅 谷 清 美	消 防 部 長	鮎 沢 勝
	長 矢 口 正 信	農 業 委 員 会 事 務 局 長	鈴 木 和 広
	長 大 原 光 浩		

議会事務局出席者

議 会 事 務 局 長	長 谷 川 勝 彦
書 記	井 坂 義 久
書	鈴 木 将 暉

市民の会出席者

健 全 育 成 部 会 長	高 木 喜 代 志
---------------	-----------

生涯学習課出席者

生 涯 学 習 課 長	大 山 伸 一
書 記	田 村 はるな
	飯 島 佑 也

趣旨説明



青少年を育てる小美玉市民の会 会長

しのね かつお
篠根 捷應

皆さん、おはようございます。青少年を育てる小美玉市民の会会長の篠根 捷應でございます。
本日は大変お寒いなかを朝早くから小美玉市議会議場にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

青少年を育てる小美玉市民の会の健全育成部会と小美玉市学校長会の共催により、第18回小美玉市子ども議会がこのような厳粛な空気の中で、そしてまた盛会に開会できましたことを大変嬉しく思っております。学校の先生方には、早くから子どもたちのこの議会に対する準備をしていただきまして、ありがとうございます。そしてまた、この議場を使わせてもらうにつきましては長島 幸男議長さんに、快く許可をいただきました。ありがとうございます。さらに、島田 幸三市長をはじめとする市の執行部の皆さん方には、公務大変ご多用のところをそれぞれ協力いただきまして、この子ども議会に大変なご理解とご協力いただきました。本当にありがとうございます。感謝を申し上げます。

さて、議員席に座られた15名の子ども議員さん。皆さんには先ほど別室で、議員証書を授与いたしました。残念ながら今日1人欠席ですけれども15名の皆さん方、今日は皆さんは1日小美玉市の議員さんです。おめでとう。皆さん方は、今日のために青少年の目線で小美玉市のことをいろいろ調べたり、あるいはまた、みんなに聞いたり調査をして、そして小美玉市はこんな素晴らしいなというふうに関心をしたり、あるいはまた、疑問に思ったり、もっとこうしてほしいと考えたり、そうしたことを頑張っておいてほしいというふうに思っています。その考えたことを、今日この場でをもって質問すると思います。このことを一般質問といいます。そして、その質問には島田 幸三市長はじめとするこの市の執行部の方々、この方々が、皆さんの質問に一生懸命答えるために、準備をしてくれました。このことを市の執行部の答弁といいます。どうか皆しっかりと質問をして、そしてこの答弁を楽しみに聞いてください。

私たち大人は、皆さんが小美玉市のことを、あるいはまた、政治や経済のことを大いに関心を持っていただき、将来に向かって大きな夢を膨らませて、世の中で活躍し、役立つ人間になってほしいと、そういうふう考えていろいろなことを事業しながら、応援しています。

今、日本の国は、皆さんのような若い青少年がどんどん少なくなっています。逆に、私たちのようなおじいさんおばあさんがどんどん増えています。これは少子高齢化という現象でこれがなかなか止まりません。従って、私たちは皆さんのような若い青少年に未来に夢を抱き、未来に頑張ってもらいたいというふうに思っています。皆にお世話になるしかありません。どうぞこれからどんどん頑張って勉強していただいて、この少子高齢化の社会を明るく、そして平和な世界になるように頑張ってほしいと願っています。

皆さんは、将来本当に幸せな豊かで平和な世の中を築くために努力し、頑張る人間になってほしいと願っております。この子ども議会も貴重な体験として誇らしく、素晴らしい思い出となり、大きな自信となるよう、そう願って開催しました。どうか将来に向かって、しっかり勉強し、運動で体を鍛え、心身ともにたくましい人間になって、社会へ出て、あるいは学校でも、どういう世界でもリーダーとなって頑張ってほしいと願っております。

皆さんが実際に政治に参加することは、18歳の選挙権です。そして、あと6年もたてば、その選挙権が与えられます。そこでお願いしたいことは、選挙には必ず投票してください。今、若い人の『選挙離れ』これが非常に大きな問題になって困っております。投票は政治参加の第一歩です。そのときが来たら今日のことを思い出して投票してください。

それから平和の世界、明るい世の中を築くために頑張ってほしいと願っております。日本は、80年程前に戦争に負けるという非常に悲惨な思いをしました。その悲惨な中から、あなた方のひいおじいさんやひいおばあさんが血みどろの思いをして頑張って、そして現在の平和な世の中を築いてくれました。そして、昨年、世界に広島や長崎のような原子爆弾を落とすようなことが絶対あってはならないという団体がノーベル平和賞をいただきました。

ところが、そういう平和を願っているにも関わらず、いまだに世界で戦争はあつちでもこつちでも起きています。戦争は絶対にいけません。従って皆さんは平和の世界、戦争のない、そういう明るい世界を作るために、頑張ってほしい。今日のこの貴重な体験を財産として胸に刻んでいただき、平和の世界を築くために努力してください。努力は必ず実を結びます。どうかたくましく生きてほしいと願っております。

傍聴席の保護者の皆さん方、また学校の先生方、この子ども議会に対するあたたかいご支援とご理解ご協力、ありがとうございました。感謝申し上げます。それからまた準備につきましては、生涯学習課の職員、そして議会事務局の皆さん方、あるいは他関係者の皆さん方、大変この子ども議会にご尽力いただきました。感謝を申し上げます。

本日の子ども議会が有意義に開催され、その成果が高く評価されますことを祈念いたしまして、趣旨説明といたします。ありがとうございました。



市長あいさつ

小美玉市長
しま だ こうぞう
島田 幸三

皆さん、改めましておはようございます。

小美玉市長の島田 幸三です。

本日、第18回を迎える小美玉市子ども議会が開催されますことを心からお祝い申し上げます。大変嬉しく思ってます。

先程、リハーサルを見せていただいた中で、若干緊張の中でも和やかに行ってるということで、若干見ている方もほっといたしました。

子ども議会にあたりまして、青少年を育てる小美玉市民の会、学校長会、子どもたちのご指導された先生方、たくさんの皆様に時間をかけて調整をいただき、今日という日を迎えられたことに対し、心より感謝を申し上げます。

改めて、子ども議員の皆さん、一人一人が、この凛々しい姿を見ますと、これから始まる子ども議会に対する熱意や経緯や、意欲が伝わり、大変頼もしく感じているところでございます。

皆さんが今、座っているこの議場は日頃、市議会議員の皆様と私たち、市の執行部が、まちづくりの問題や課題について話し合いをするとても大切な場所でございます。明日の小美玉市を担っていく、大切な宝である皆さんに市議会を体験していただくことは、大変意義があり皆さんにとっても貴重な経験になると思います。

大勢の人を前に、少し緊張するかもしれませんが、これまで準備してきたことを十分に発揮し、自信を持って堂々と質問をしてください。

私たちも誠意をもって答弁させていただくとともに、皆さんの意見や、提案をしっかりと受けとめ、まちづくりの将来像である、

「『ひと、もの、地域』が輝き はばたく ダイヤモンド・シティ」の実現に生かして参ります。

結びに本日ご参会の皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。



市議会議長あいさつ

小美玉市議会議長
ながしま ゆきお
長島 幸男

皆さん、おはようございます。

私は小美玉市議会議長の長島 幸男でございます。議会を代表いたしまして、歓迎の挨拶をいたします。

今日は子ども議会が、この議場で開催いただくことに対して、嬉しく思っております。

皆さん、議場に入って感じられたことは、どのように感じられましたか。この議場は、私たちの市の重要な決定をなされる場所であります。市民の声が私たち議員の一般質問などを通じて反映される場でございます。今日は、日頃感じている課題について、市長さんや市の担当部署へ伝える貴重なチャンスであるとともに、皆さんが市議会議員として役割を体験し、多くのことを学び、感じていただける機会となります。質問があれば、遠慮なくお尋ねください。私たちは皆さんの好奇心と学びを応援しております。

子ども議会は18回を数え、過去には皆様の一般質問において、早期に通学路に信号を設置されたという実績もございます。

皆さんとともに住みよい豊かな小美玉市をつくっていきたいと思っております。

また、子ども議会の子どもの議員の皆様をサポートしてくれる保護者や先生方、そして、関係者の皆様にも深く感謝を申し上げます。

皆様のご協力とご支援があったからこそ、今日このような貴重な体験の場を設けることができました。

最後になりますが、未来を担う子どもたち、議員の皆さん、そして小美玉市の、すべての子どもたちの成長と、輝かしい未来を願い、挨拶とさせていただきます。

今後も、ともに市の発展に向けて、努力して参りましょう。

ありがとうございました。

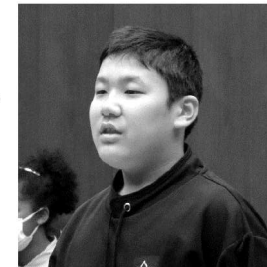
質問及び答弁

質問事項

学校全体の設備について

学校名 羽鳥小学校

議員名 たかくさき ゆうと
高草木 悠斗



■質問

私は「学校全体の設備について」質問します。
今年度の夏は、暑さのため、学校での活動が制限される日が多くありました。近年の夏は、非常に暑く、さらに長期間にわたり真夏日や猛暑日が続いています。毎日のように熱中症警戒アラートが防災無線で放送されたり、WBGTが高いために外で遊べない日が多かったりと、私たちにとって楽しい休み時間がつまらない時間になっています。体育館の中も暑いため、体育の授業もとても苦しい時間になっています。体育館に冷房があれば外で活動できない時でも、体育館の中だけで充実した活動ができると思います。

茨城新聞によると、水戸市は2028年までに市内の学校全ての体育館に空調設備を導入する予定だそうです。今後、市内の体育館に冷房を設置する計画はあるのでしょうか。

また本がたくさんあり、広くて明るい図書室があれば、外で活動できない時でも楽しい時間が過ごせると思います。現在羽鳥小の図書室は狭く、本の種類も十分だとは言えません。さらにテーブルやいすの種類も少なく図書室を有効活用するためには、もっと多くの児童が利用できるように広くしたり、テーブルやいす、本を増やしたりする必要があると思います。羽鳥小を改修するにあたって、図書室をどのように改修しようと考えているのでしょうか。以上、答弁を求めます。

■答弁【答弁者名：植田 賢一 教育部長】

高草木議員のご質問、「学校全体の設備について」答弁いたします。

まず、市では、学校や公民館、文化ホールなどの公共施設について、いつ修繕や更新を行うかを整理した「公共施設建築物系個別施設計画」を作成しています。この計画をもとに、公共施設の建て替え、施設を長持ちさせるための長寿命化改修や中規模修繕、そして用途が廃止された施設の解体などを進めています。

ご質問の学校体育館に冷房を設置する計画についてですが、各学校体育館の長寿命化改修に合わせ、空調設備を整備する予定です。今年度は美野里中学校体育館の改修工事に合わせ、空調設備を整備しました。空調設備を導入するにはたくさんのお金がかかりますので、市では、国からの補助金を活用して整備しています。国の補助金を活用するには、空調設備の効率を高めたり、運営コストを抑えたりするため、体育館の「断熱性」を確保する必要があります。このため、学校体育館については、断熱性を確保する改修工事に合わせて空調設備を設置してまいります。

議員が通学する羽鳥小学校は、今年度から校舎の増築工事を行っておりますが、増築工事のあとに校舎の長寿命化改修工事を計画しています。羽鳥小学校の体育館も、「断熱性」を確保するための改修工事に合わせて空調設備を設置してまいります。

次に、羽鳥小学校の図書室の改修についてですが、増築する校舎の1階部分に普通教室2教室分の広さの図書室を設ける計画です。増築工事に伴い、現在の図書室が利用できなくなるため、一時的に空きスペース用の本棚を整備しました。児童の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、施設改善のために必要な措置ですので、ご理解をお願いします。

また、羽鳥小学校の長寿命化改修工事にあたっては、学校運営協議会やPTAの方々から「学びやすい学校にしてほしい」や「光を取りこんだ明るい教室してほしい」という意見をいただいています。皆さんからいただいた意見を大切にしながら、学校と協力してより良い学校環境づくりを進めてまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

ゴミの不法投棄について

学校名 羽鳥小学校

さえき まさおみ
議員名 佐伯 真臣



■質問

今回、私が質問したいのは「小美玉市では、ゴミの不法投棄の取りしまりを強化する予定はあるのか」ということです。私が登下校をする際に、ファミリーマート美野里羽鳥店の裏の砂利駐車場近くの森林に、ゴミが捨てられているのをよく見かけます。捨てられていたものは、おかしの袋や本などのファミリーマートに売っているものや、自転車、タイヤ、洗濯機等の家庭で使う大きなものなどでした。小美玉市のホームページを見ると、不法投棄の対策として、不法投棄作業員による回収が行われたり、看板などの備品の配布、クリーン作戦を行ったりしていることが分かります。しかし、令和5年度の小美玉市の不法投棄の回収状況は、6,920キログラムとなっており、とてもゴミの不法投棄が減っているとは思えません。小美玉市を美しいまちにするためにも、現在行っている対策に加えて、ゴミの不法投棄の取りしまりを強化する必要があると強く感じます。今後、ゴミの不法投棄の取りしまりを強化する予定があるのでしょうか。もしあるならば、どのような対策を行っていくのか教えていただきたいと思います。以上、答弁を求めます。

■答弁【答弁者名：矢口 正信 市民生活部長】

佐伯議員のご質問、「ゴミの不法投棄について」答弁いたします。
議員ご発言のとおり、市内には空き缶や紙くず、自転車、家電製品などの一般廃棄物から、土砂やがれきなどの産業廃棄物まで多くの種類のゴミが捨てられているのが確認されています。
市では、これらの不法投棄の未然防止を目的として不法投棄監視員を配置し、日常的なパトロールを行っています。また、捨てられてしまったゴミは、不法投棄作業員が市内を巡回しながら回収をしており、令和5年度の1年間で回収したゴミの量は、6,920キログラムで、5年前の平成30年度の7,660キログラムと比較すると減少傾向にはありますが、まだまだ私たちの日常生活の中で目にするのが多いのが実情です。
市ではこれらの不法投棄対策として、ゴミの適正な処分方法やリサイクルの重要性を市民の皆さんに知ってもらう広報活動や、不法投棄された場所などへの看板設置、市内の見回り活動や市民の皆さんと取り組むクリーン作戦などを実施し、不法投棄の解消に向けて取り組んでいます。
また、最近では、耕作されていない農地や、管理されていない山林が増加していることから、不法投棄されやすい環境になりつつあるので、土地の所有者に対し、雑草などの刈り取りや、土地に侵入されないようロープやフェンスを設置するなど、不法投棄をさせない環境づくりをお願いしているところです。しかし、捨てられているゴミの量が大きく減少するまでには至っていません。
そのため議員からのご指摘のように不法投棄に対する新たな対策や取り締まりを行っています。
ひとつは、不法投棄は繰り返し行われることが多いので、大量な物や回数も捨てられている場所には、防犯カメラによる監視を行い、不法投棄者を直接指導いたします。
また、不法投棄されやすい家電製品の回収イベントを、年に2回休日を実施するなど、捨てられないための環境づくりを進めています。
しかし、重要なのは、私たち一人一人が、ゴミの適切な処分を行うことです。これまで実施しているゴミの適正な処分やリサイクルの重要性を、多くの市民の皆さんに理解してもらう活動を継続して行うとともに、捨てられにくい環境づくりを進め、不法投棄の解消に向けて取り組んでまいります。
ゴミとして捨ててしまうものの中には、本来は繰り返し使用することが可能な重要な資源が多く含まれていますので、安易に捨てることがない循環型社会を、市民みんなで作くりながら、小美玉市を美しいまちにしていきたいと思います。以上、答弁いたします。

質問事項

小川商店街の活性化について

学校名 小川南小学校

むらやま こうき
議員名 村山 凰希



■質問

僕は、小川の商店街の活性化について質問します。小川の商店街は、閉まったシャッターやひと気のない店をみると、やはり活気が少ないと感じました。
商店街に活があれば、周りの町にも活気がわき、小川の町も活気があふれると思います。しかし、活性化を図るために、いくつか問題点があると思っています。僕は、「歩道がなく人が歩きにくい。」という問題のせいで活がないかかもしれないと思います。また、今はいくつかの新しい店が入ってきていますが、閉まっている店が多く、もっと多くの店が入ってくる必要があると考えています。
そこで、商店街の整備と新しい店が入ってくるための取り組みで、市が計画をしていることがあれば、聞かせてください。よろしくお願いいたします。

■答弁【答弁者名：倉田 賢吾 産業経済部長】

村山議員のご質問、「小川商店街の活性化について」答弁いたします。
はじめに、市では、旧小川小学校跡地を中心に、地域交流の場づくりや防災施設の充実を目的とした『小川城跡地周辺地区都市再生整備計画』を作り、小川市街地の活性化に向けた取り組みを進めています。
その取り組みのひとつとして、川岸地区にある市営駐車場の駐車スペースの整備や新たに休憩スペースを設置するとともに、駐車場周辺の道路の一部に色をつけるカラー舗装の整備のほか小川市街地を移動するための案内看板の整備を予定しています。
これらを整備することによって、駐車場から商店街へ歩いて移動する際の「分かりやすさ」や「安全性」が良くなり、商店街も利用しやすくなるため、小川市街地の活性化が期待されます。
次に、『新しい店が参入するための取り組み』ですが、市では、「新しく会社を設立したい」「自分のお店を開きたい」と考えている方を支援する『創業セミナー』を実施しています。このセミナーは小美玉市商工会と連携して行われており、会社の経営方法や会社のお金の使い方、従業員の育て方や商品の販売方法など、会社を経営していく上で必要な知識を学ぶことができる研修です。
創業セミナーを受講すると、会社設立時に必要な登録免許税という税金が減免されたり、会社を設立する際に必要なお金を金融機関から借りやすくなるなどのメリットがあります。実際に、創業セミナーを受講して、小川の商店街で新しいお店をオープンされた方もいらっしゃいます。
小川商店街の活性化を図るため、引き続き、商店街周辺の環境整備と新しいお店を開くための支援に取り組んでまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

農家の方の高齢化・農業人口の減少について

学校名 小川南小学校

議員名 とつか たいち
戸塚 大智



■質問

僕は、小美玉市の農業について質問します。

僕は、野球を習っています。そのチームのコーチや監督が農家をしています。小美玉市には、ニラやレンコンなどの素晴らしい特産物があります。野球のコーチたちもニラをはじめ、様々なものをつくっており、それをいただくこともあります。

しかし、現在、農家の高齢化が進んでいて、人手不足や後継者不足などの問題に直面していると聞きます。調べたところによると、小美玉市の農業人口は平成27年には、約7,000人、令和に入ってから約3,000人とありました。

このまま、農業人口が減っていくことで農家の数がさらに減り、おいしくいただいている、ニラやレンコンなどが食べられなくなってしまうかもしれません。

そこで、このような問題を改善していくために、私は次のことを提案します。

それは農家の体験などを増やすことです。市で農業体験を行い、その機会を増やすことで農家が少しでも楽しいと思う人が増えたり、将来農家になりたい人も増えるかもしれません。このように農業体験を増やして、人手不足の改善や農家の方の高齢化などを改善できないでしょうか。また、市で農業について対策していることがあれば教えてください。よろしくお願いします。

■答弁【答弁者名：鈴木 和広 農業委員会事務局長】

戸塚議員のご質問、「農家の方の高齢化・農業人口の減少について」答弁いたします。

議員のご指摘のとおり、農家の高齢化や農業人口の減少は本市だけでなく、全国的な問題として深刻化しています。特に、農家の高齢化が進む中で、後継者の不足や人手不足が目立つようになってきており、これに対する対策が急がれています。

市としても農業人口を増やすためには、農業体験をはじめとした農業の魅力を感じてもらえる機会をつくるのが、とても大切だと考えております。具体的には、農業体験の一環として市民が家族ぐるみで土を親しみ、野菜や花を育て、自然とふれあいながら収穫の喜びを味わうことができるシビックガーデンという市民農園が美野里地区に設置されています。今年度は225区画のあるうち、195区画が利用されており、多くの市民が参加しています。秋には収穫祭を開催し、保育園児を対象とした芋掘り体験や、利用者の表彰などを行い、地域の皆さんに農業の楽しさを実感していただく機会を提供しております。

また、本市は茨城県内でも酪農業が盛んであり、牛乳や卵をはじめ、戸塚議員からお話がありました、ニラやれんこんなどの様々な農産物が生産されています。今年度からは、市が特に優れた農産物を「小美玉ブランド【小美玉のめぐみ】」として認定し、地域ブランドとして情報発信を行っております。これによって地元の農産物がもっと多くの人に知ってもらえるようになり、皆さんに選ばれる機会が増えることが期待されます。

さらに、農業を支える人たちを育てることに力を入れており、新たに農業を始めたい人や後継者を育てるための支援や研修プログラムを用意し、若い人たちが農業に興味を持ち、将来の農家として活躍できるようサポートしています。また、農地を集めて規模を大きくすることで、効率的な農業経営を実現するための取り組みも行っています。さらには、子どもたちに市産農産物の良さを知っていただくため、給食には市内で作られた農産物を多く使用しています。

このように、農業の魅力をアピールすることで農業人口が増えるよう、今後も様々な取り組みを行ってまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

福祉サービスの充実について

学校名 小川南小学校

議員名 やつもんじ さき
八文字 咲



■質問

私は、小美玉市の福祉サービスの充実について質問します。

全国的に、高齢者の割合が増えており、小美玉市も例外ではないと聞きます。高齢者の割合が増えてくると、足の不自由な方も多くなってくると聞かれます。

私の母は、福祉の仕事をしているのですが、母から、小美玉市社会福祉協議会では車椅子が必要な方のための「車いす用送迎車」のレンタルを行っていると聞きました。それは、とても素晴らしいことだと私は思いました。しかし、台数に制限があり、なかには、予約を入れてもその日に使えない人もいる点は残念だとも言うていました。

そこで、市の協力で車椅子用送迎車のレンタル台数を増やすことはできないだろうか、ということが私の質問です。そうすることで、通院や家族との外出の機会をもってもらえるといいなと思ったからです。

また、他に高齢者の外出の機会を増やすための取り組みを市として行っていることがありましたら、併せて教えていただきたいと思います。

■答弁【答弁者名：佐々木 浩 福祉部長】

八文字議員のご質問「福祉サービスの充実について」答弁いたします。

議員ご案内のとおり、高齢者の割合が増加する中で、福祉サービスの充実は非常に重要な課題であり、特に外出が困難な方への支援は地域社会全体の福祉向上につながるものと考えております。

まず、ご指摘の社会福祉協議会が実施する「車いす送迎車貸出事業」についてですが、この事業は市内にお住まいの外出が困難な車いす利用者や身体障がい者、歩行困難な高齢者を対象としており、病院への通院や公共施設等への送迎に利用されています。

現在、車いす送迎車を合計7台保有しており、玉里本所に1台、美野里支所に2台、小川支所に1台、他の事業と兼用している予備車両が3台となっております。

利用を希望される方は、5日前までにお住まいの地域の支所または本所に予約を行う必要があります。予約を希望しても、その日に利用できなかった方がいらっしゃるのとことにつきましては、ご不便をおかけし申し訳ありませんでした。現状では、予約が他の利用者と重複した場合でも、予約のない車両を使用することが可能であり、利用者のニーズに十分対応できる体制を整えております。

議員からの「市が協力して台数を増やせないか」というご質問についてですが、今後、利用者の増加などにより現在の保有台数では不足するという状況となった場合におきましては、新たに車両を増やすことについて検討してまいりたいと考えております。

また、この事業で使われているお金ですが、議員もご存じの「赤い羽根募金」であり、皆様からいただいた善意で成り立っている事業ですので、今後とも募金にご協力いただければ幸いと思っております。

次に「高齢者の外出の機会を増やすための取り組み」といたしまして、「高齢者等外出支援事業」を実施しております。この事業は、70歳以上の方、または60歳以上で足や視力に障がいのある方で、運転免許証を持っていない、または運転免許証を返納した方を対象として、タクシー券を交付するものです。具体的には、500円のタクシー券を56枚交付をいたしまして、1回の乗車で4枚（2,000円）まで使用することができます。今年度は1,400人を超える方々に交付をしております。通院や買い物などに活用をされています。

市としては、今後も高齢者の方々が暮らしやすく、「住んで良かった」と感じられるまちづくりを目指してまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

小学生の海外研修の機会づくりについて

学校名 納場小学校

議員名 よだ すみれ
依田 純怜



■質問

小美玉市では、姉妹都市でのホームステイや短期留学を支援していると聞き、興味を持ちました。しかし、体験ができるのは中学生以上だと知り、残念でした。小学生にもその機会があったらよいと感じました。

私は英語を勉強することが好きです。しかし、当然ながら苦手意識をもっている人もいます。それは、英語を話すよさを実感していないからではないでしょうか。授業で学んだことを実際に話して通じたという嬉しい経験ができれば、英語をもっと学びたいと思います。小学生は中学生と比べて知っている単語や文法は少ないですが、聞いた言葉をはずかしがらず素直にまねする発音する力があります。外国の人とたくさん話すことで発音の力も向上すると思います。

海外で過ごす経験は、他にも良いところがあります。いろいろな人に出会ったり、日本とは違う海外の文化を経験したりすることで、「違うからすばらしい。違うからおもしろい。」という考えをもつきっかけになると思います。そのためには、英語を話す国以外にも行けるとさらによいです。私の友達にも韓国に興味をもち、韓国語を学んでいる人がいます。英語を話す国以外から学ぶことは多いはずですが。

調べたら他市では実施しているところが複数あります。小美玉市でも今後実施する予定はあるのか、お聞きしたいです。

■答弁【答弁者名：深谷 一広 副市長】

依田議員のご質問、「小学生の海外研修の機会づくりについて」答弁いたします。

本市では、アメリカ合衆国アビリン市と昭和59年から姉妹都市の交流を開始し、40年を迎えました。また、昭和63年から中学生並びに高校生を対象に、ホームステイによる派遣を行いまして、平成2年からはアビリン市の中学生並びに高校生の受け入れも開始し、現在も相互にホームステイ交流事業を実施しているところでございます。

この事業は、ホームステイを通じ、姉妹都市の交流を深める中で、異なる言語や文化を体験し、多様な価値観を学ぶことにより、国際感覚を養い、国際的な視野を持つ人材の育成を行うものです。

議員からご指摘いただきました、中学生以上を対象としている理由につきましては、海外で約2週間、家族と離れ生活するには、一定の適応力や心の安定が必要となることから、中学生と高校生を対象にしていますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

アビリン市訪問団の受入れ事業につきましては、ホストファミリーとなっていたただけの家庭を募集いたします。今年も4月より広報紙やホームページにて募集を開始いたしますので、議員のご両親からも、ぜひお申込みいただきアビリン市の皆さんと交流する機会にしていただければ幸いです。

また、小美玉市は、昨年10月に台湾の新北市淡水区と友好交流覚書を締結したところでございます。今後は、観光、文化、芸術、産業、教育、スポーツなど幅広い分野で交流を行ってまいります。具体的な内容につきましては、これから計画を作ってまいりますので、スタート事業のひとつとして来年度は台湾の中学校と小美玉市の中学校で英語によるオンライン交流事業を実施する予定でございます。

今後、市といたしましてはアビリン市とのホームステイ交流事業に加えまして台湾におきましても、海外研修を実施することにつきまして検討してまいりたいと考えております。以上、答弁いたします。

質問事項

防災公園や防災の取り組みについて

学校名 納場小学校

議員名 しらくら ひな
白倉 緋夏



■質問

私は小美玉市の防災公園について質問します。

国語の授業で災害について調べた時に、茨城県は全国的にも地震が多く、不安に思ったことがあります。また、南海トラフ大地震はいつ起こるのかわからず、起これば茨城県のほとんどの地域で震度4～5弱程度の大きな揺れになると言われていて心配になりました。また災害について調べてみたところ、災害が起きた時に避難することができる「防災公園」というしくみがあることを知りました。小美玉市にも防災公園がありましたが1つしかなく、その公園は宮田防災公園といって、小川地区にあるため、私たちのように納場地区に住む人は避難が間に合わない可能性が高いです。防災公園があっても、災害が起きた時に避難することができれば安全とは言いがたいでしょう。また、宮田公園には遊具がなく公園として楽しむことが難しく、知らない人が多いのではないかと思います。そこで、私は納場地区の近くに、遊具機能を備えた防災公園を建てることを提案します。山口県防府市にあるメバル公園には大人も子どもも楽しめる防災遊具があります。例えば、テントを張れば80人以上収容することのできる遊具や列車型遊具の形状をした物資を運搬するための手押し車など多くの防災機能が備わっています。

このような公園を建設し防災訓練を実施して、防災遊具の説明をするなどの取り組みをすれば、市民の防災意識が高まる上に、公園の認知度も高まると思います。そこで、小美玉市では地震などの災害に対して、どのような対策や見直しが行われているのか、防災公園などの施設の建設予定はあるか、防災訓練などの取り組みを実施する予定はあるのか、お聞かせください。

■答弁【答弁者名：鮎沢 勝 消防長】

白倉議員のご質問、「防災公園や防災の取り組みについて」答弁いたします。

まず、議員が提案された納場地区への遊具機能を備えた防災公園の建設について、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

現在、納場小学校区については、納場運動広場、納場小学校、茨城県立中央高等学校、美野里中学校、先後公園などを指定避難場所としており、災害が発生した場合は、そちらへ避難していただくことになります。

そのため、防災公園の建設予定は、今のところありませんが、避難所となっている四季の里の芝生広場に、新たな遊具の設置を計画しております。

次に、災害対策や防災訓練については、避難所運営訓練など行政機関が主体となって行うものと、各地区のコミュニティが主体となった防災訓練や防災フェスティバルが行われております。その他には、各小学校、地域活動団体、民生委員などからの依頼を受けた、防災管理課の職員による防災講座など、市民の防災意識の向上を図り、訓練や活動を通じて明らかになった課題や問題点を災害対策の見直しに活かしております。

その他、災害に対しての備えについては、昨年1月1日に発生した能登半島地震等、実際の現場での教訓を踏まえて見直しを進めていくことは、非常に重要であると考えております。

さらに、民間業者との連携協力も非常に重要であり、今年度は3つの業者とそれぞれ「災害時における移動式宿泊施設等の提供に関する協定」、「災害時における薪の供給協力等に関する協定」、「災害時における救援物資提供に関する協定」を締結いたしました。

今後、市としましては、コミュニティ団体や学校と連携した防災訓練の実施を支援・充実させることにより、災害対策や市民の防災意識の向上を図ってまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。以上、答弁いたします。

質問事項

街灯・防犯灯の整備について

学校名 竹原小学校

議員名 さとう てみ
佐藤 テミ



■質問

私は、道路を整備している方々に、安全のために街灯を増やしてほしいということをお願いしたいと思います。

私は夜に、サッカーチームのグラウンドに行く時や習い事の後に羽鳥駅から自宅に帰る時に自転車を利用しています。しかし、中野谷地区からメロンロードを横断して、美野里中学校へと続く市道205号線には、街灯が設置されておらず、暗い場所があります。ジョギングをしている方もいて、ぶつかりそうになり危険を感じたことがありました。

そこで、街灯を設置することを希望します。街灯が増えることで、道がはっきりと見えて、歩く人や自転車に乗る人、自動車に乗る人が安全に通行することができるようになると思います。安全性が増すことで、事故を防げて、亡くなる人やけがをする人を少しでも減らすことができるのではないかと思います。

私は、4月から中学生になり、歩いての通学から、自転車通学に変わります。中学生になると、部活動があるので、夕方の暗い時間に下校することがあると思います。私たちが安心・安全に登下校や通行ができるよう、どうぞよろしくお願いいたします。

■答弁【答弁者名：滑川 和明 市長公室長】

佐藤議員のご質問、「街灯・防犯灯の整備について」答弁いたします。

まず、議員が提案された街灯の設置について、非常に重要なお意見をいただき、感謝を申し上げます。

市では、道路の通行の安全を確保するために、街路灯と防犯灯の2種類の照明施設を整備しています。街路灯は主要道路の交通安全を目的としており、防犯灯は通学路や地域における夜間の犯罪防止を目的としています。議員がご指摘された道路の街灯は、防犯灯に該当します。

防犯灯の設置については、市が定めた「防犯灯設置要綱」に基づき、現在進めています。設置する際は、地域の代表者である区長さんから要望書を市に提出いただき、その要望書をもとに市は区長さんと一緒に現地を確認し、必要性が高いと判断した場所に設置を行っています。このように、地域の皆さんからの声をひとつずつ確認しながら、安全な環境づくりに現在努めています。

また、各学校での通学路の安全対策として「小美玉市通学路交通安全プログラム」を策定し、関係機関と連携して安全で安心な通学路の確保に努めております。こうした方針に基づき、防犯灯の設置なども行っております。

議員におかれましても、危険な箇所などを見つけた際には、ぜひ学校の方に報告していただきたいと思います。

さらに、市では犯罪の抑止や事件・事故の早期解決を図るため、防犯灯以外にも交通量の多い幹線道路や学校周辺に防犯カメラを計画的に設置しています。警察や防犯協会などの関係団体と連携し、防犯組織体制を強化しながら、地域の安全を守るためのパトロールを実施するなど、犯罪の起こりにくい環境を推進し、安全・安心なまちづくりに努めているところです。

議員が提案された内容は、これから中学生になる皆さんが安心して通学できる環境を整えるために非常に大切なご意見ですので、市といたしましても、その意見をしっかりと受け止め、地域の皆さんが安全に安心して通行できるように取り組んでまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

税金の仕組みについて

学校名 玉里学園義務教育学校

議員名 おぬま かえ
小沼 かえ



■質問

社会科の学習で、税金は私たちの生活や社会を支える大切な物であり、税金を使って多くの人が必要とする公共的な事業を行っていることを学びました。学習を通して、私たちの税金が、人々の生活や私たちの住むまちをよりよくするために使われていることや、税金の使い道は、市民の代表が集まる市議会の話し合いによって決められていることを初めて知りました。

そこで、廃校になった場所や昔公園だった場所に新しい公園を作ること、霞ヶ浦の水をきれいにしたり周辺の草を刈ったりするなどの環境整備をすることにも税金を使えるのではないかと考えました。私たちの身近な場所に公園があったり、学区内がきれいに整備されていたりすると、私たちも安心して楽しく生活することができます。

このような税金の使われ方が決まるまでに、どのような手順で話し合いが進んでいますか。また、実際に、税金はどのように使われているのですか。教えていただければと思います。よろしくお願いいたします。

■答弁【答弁者名：菅谷 清美 財務部長】

小沼議員のご質問、「税金の仕組みについて」答弁いたします。

はじめに、小美玉市ではよりよいまちづくりを進めるため、市の計画で最も重要な「小美玉市総合計画」を定めています。総合計画では、市民一人一人が安心してずっと幸せに暮らせるよう、様々な取り組みを決めており、それらの取り組みを進めるために、税金を使っています。

1つ目のご質問、「税金の使われ方が決まるまでに、どのような手順で話し合いを進めているか」ですが、税金は、実際に使用する年の「前年」に5つの段階を踏んで検討・決定しています。

最初に「計画書の作成」です。教育、福祉のほか、保健衛生、産業経済、都市建設や消防など、様々な部門の担当者が、小美玉市をより良くするために、どのような公共サービスを提供すべきか、どのようなまちづくりを行ったらよいか、市の総合計画を踏まえて計画書を作成します。

次に、「計画書の審査」です。計画書が、市民の皆さんが求めている事業なのか、税金を有効に使うことができる取り組みなのかなどを、総合的に判断し審査いたします。

次に、「費用見積書の作成」です。各部門で計画書の審査結果を踏まえ、市民サービスに必要な費用を計算し、見積書を作成します。

次に、「費用見積書の審査」です。担当部所定計画した事業の優先順位をはじめ、費用の計算が誤っていないか、税金を使いすぎではないかなど審査を行い、次の年に使う費用である「予算」の案を決めます。

最後に、「市議会での話し合い」です。市民の代表である議員で構成される市議会が話し合いを重ね、認められれば「予算」として最終決定され、税金の使い方が決まります。

2つ目のご質問、「実際に、税金はどのように使われているのか」について、お答えをいたします。

小沼議員からご提案がありました、「閉校になった場所の整備」では、旧橋小学校的跡地を、スポーツが楽しめる交流場所として整備を進めております。また、霞ヶ浦の水質を改善する取り組みでは、霞ヶ浦に流れる生活排水を浄化するための汚水処理の整備施設や、市民の方々にも協力をいただきながら、霞ヶ浦周辺のゴミ拾いや草刈りなどを行っています。

他に、「医療」、「介護」、「福祉」などの社会保障、道路や公園の整備、消防や災害復旧など、税金の使い道は様々です。

税金の使い道については、「広報おみたま」などでご案内をしていますので、ぜひ多くの方にご覧いただいて、使い道を知っていただきたいと思います。

最後になりますが、全国的に、少子高齢化、人口減少の影響などにより、税金はこれから減少していくことが想定されております。市では、総合計画に定めるまちづくりの将来像である、

「ひともの地域」が輝き はばたく ダイヤモンドシティ ～見つける。みがく。光をあてる。～に向け、小沼議員をはじめ、本市の宝である子どもたちが、「これからもずっと小美玉市に住み続けたい」と思っていただけのように、税金を有効に活用してまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

伝統文化・文化財について

学校名 玉里学園義務教育学校

議員名 ひぐち りん
樋口 凜



■質問

コロナ禍が収まりつつある中、小美玉市では地域の行事が活気を取り戻しつつあります。私の住んでいる玉里地区では、夏休みごろに大宮神社の「玉里魔神祭」というお祭りが開催されます。10年以上前からお祭りはやっていらしいのですが、私は昨年初めてこのようなお祭りがあることを知りました。小川地区のお祭りのことはよく知られていますが、他の地区のお祭りのことはあまり知られていないように思います。

また、私は玉井乃跡や古墳神社などの文化財について授業で学習しましたが、市外や他の地区の方は小美玉市の文化財についてあまり詳しくないと思います。

そこで、提案があります。このような今後も受け継いでいきたい行事や文化財を他の地区や市外の方々に知ってもらうために、小美玉市の伝統文化をまとめたマップやリーフレットを作り配布するのはどうでしょうか。小美玉市のホームページには祭事や文化財をまとめてありますが、場所が地区しか分かりません。そのため、位置がすぐに見て分かる地図があるとより分かりやすいと思います。

ぜひ、ご検討をよろしくお願いいたします。

■答弁【答弁者名：羽鳥 文雄 教育長】

樋口議員のご質問、「伝統文化・文化財について」答弁いたします。

本市には、地域ごとに大切にされている神社の祭りや、伝統的な行事が数多く存在しています。玉里地区で続いている「玉里魔神祭」もそのひとつであり、こうした地域の祭りや行事は、私たちのまちの特徴を形作る重要な文化遺産となっております。これらの行事は、地域住民同士の絆を深めるだけでなく、市民や市外の方々にも広く知っていただくことが大切です。

議員ご提案の「小美玉市の伝統文化をまとめたマップやリーフレットの作成について」ですが、これはとても良いアイデアだと考えております。

地域の行事や文化財を詳しく調べたり、多くの方々に知ってもらったりするためには、わかりやすい地図や情報が必要です。

実際に、本市では観光パンフレットとして「こころきらめく旅小美玉」を作成しており、市内の神社やお寺、祭り・イベントなどについても紹介しています。このパンフレットで、「玉里魔神祭」や「小川の祇園祭り」など、地域の特色ある行事を写真とともに分かりやすく紹介し、地図も掲載することで地域の魅力を伝える手段となっております。

また、市内には44ヶ所の遺跡が存在し、その位置情報をデジタル化した遺跡地図を昨年3月に作成しております。この取り組みにより、より多くの方々が小美玉市の文化財の魅力に触れる機会が増えることを期待しております。

さらに、市民や市外の方々向けに「小美玉市史跡文化財ガイドマップ」も発行しています。このマップは市内の重要な文化財を知るための資料として活用されていますが、発行から16年が経っているため、新しい情報を取り入れる必要があります。今後は、このガイドマップを見直し、位置情報についてもわかりやすく改定してまいります。

また、市としてホームページをはじめ、インターネットを活用し、誰でも簡単に小美玉市の伝統文化や文化財の情報を手に入れられるような仕組みを検討し、本市の魅力をさらに発信できるよう努めてまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

救急外来について

学校名 小川北義務教育学校

議員名 さくらい れのん
櫻井 伶音



■質問

救急外来の設置についての提案です。

小美玉市には、救急外来がありません。そのため、休日・夜間に病院へ行こうとすると、水戸市や岡崎市まで行く必要がありますが、私の家から水戸までは車で約40分かかります。小美玉の医療センターへ電話をしても、「人がいない」、「専門医がいない」などの理由で断られてしまったという意見が複数ありました。今の状況では夜中に熱を出してしまったり、病院へいこうとしても、すぐに診察を受けることができません。もし緊急で病院に行かなければならない状況になってしまったら、病院が近くにあればとても便利だと思います。

救急外来の設置場所の提案として、福祉施設の近くに設置するとよいと思います。小美玉市内には、リハビリなどを含めた介護施設の数が約80件あります。リハビリ中や夜中に体調が悪くなり、もし倒れてしまっても、すぐに病院に行くことができれば一人でも多くの命を救えるのではないのでしょうか。

また、空港近くに設置するとよいと思います。観光に来た方々が、けがをしったり、熱を出してしまったりした時に、見慣れない土地、知らない場所で病院がないととても心配になってしまうと思います。海外から観光に来た方たちが安心して利用できる病院があれば、また小美玉に遊びに来たいと思ってもらえると思います。

小美玉市民のためにも、小美玉市に遊びに来た観光客のためにも、救急外来を設置してほしいと思います。以上、答弁を求めます。

■答弁【答弁者名：大原 光浩 保健衛生部長】

櫻井議員のご質問「救急外来について」答弁いたします。

まず、市内には「小美玉市医療センター」と「石岡循環器科脳神経外科病院」があり、平日の診療時間内であれば、入院が必要な救急患者を受け入れています。しかし、休日や夜間に急病になった場合は受け入れる病院がなく、大変ご不便をおかけしております。

現状では、市内には休日や夜間に受け入れる病院がないため、石岡地域や鉾田地域の病院と連携し、当番制で救急患者の受け入れを行っています。具体的には、休日の場合は「石岡第一病院」で行われている「こどもの休日診療」や、「山王台病院」の「石岡地域休日緊急診療センター」を利用することができます。また、水戸市にある「水戸市保健センター休日夜間緊急診療所」では、毎日夜間及び休日の診療が受けられます。

議員が提案された、福祉施設の近くや茨城空港の近くに救急外来を設置することは、とても良いアイデアだと考えております。特に福祉施設の近くに設置することで、リハビリ中や夜中に体調が悪くなった際に迅速に対応できる可能性が高まります。また、観光客にとっても空港近くに救急外来があれば安心して観光を楽しむことができると考えます。

しかしながら、新たに救急外来を設置するにはいくつかの課題があります。

まず、医師や看護師、レントゲン技師などの医療従事者を確保する必要があります。特に、公立病院の設置は困難であり、民間の医療機関を誘致することも難しい課題となっております。

さらに、医療設備を整えるためにはたくさんのお金が必要となります。地域の病院との協力体制を強化し、医療従事者の派遣の仕組みを作ることも重要です。このように、福祉施設や茨城空港近くに救急外来を設置することには多くのメリットがありますが、それに伴う課題も存在し、実現には時間がかかるものと考えております。

今後とも、地域内の病院同士が協力し合い、患者の受け入れ体制を強化することで、より効率的な救急医療サービスを提供できるよう努めてまいります。

また、市民や本市を訪れた方々が安心して過ごせる救急医療体制の整備に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。以上、答弁いたします。

質問事項

閉校の利用方法について

学校名 小川北義務教育学校

議員名 こいけ みゆ
小池 望結



■質問

令和4年3月に野田小学校、上吉影小学校、下吉影小学校の3つの小学校が統合し、閉校になった校舎が約3年間放置された状態になっています。そのため、今回の機会に閉校の利用方法について質問したいと思います。

まず、閉校のままにしておくデメリットについて考えてみました。校舎をこのままにしておく、野良犬、野良猫が校舎の周りに住み着き、登下校の際に追いかけられたり場合によっては噛まれたりしてしまうかもしれません。実際に、私のクラスでも登下校の際に野良犬に追いかけられたという人もいました。今後そのようなことがまた起きないように、閉校を有効に活用する必要があるのではないのでしょうか。

クラスで行った子ども会議で挙がった閉校の活用方法としては、小美玉市の特産物のニラや鶏卵、いちごを使用した体験施設や、航空祭や花火大会等のイベント時の校舎の開放、校舎を利用した宿泊施設、バーベキュー場、ドッグラン等が意見に挙がりました。

小美玉市は茨城空港を利用する県外の方がたくさんいらっしゃいます。また、最近では閉校活用の事例がSNS等にも多く取り上げられています。このような施設を作ることで、小美玉市のことをたくさんの人たちに知ってもらい、多くの人に訪れてもらうきっかけになるとともに、地域交流の活性化を図ることができると思います。

市としては、このような閉校跡地を今後どのようにして活用していくのでしょうか。

以上、答弁を求めます。

■答弁【答弁者名：中村 均 総務部長】

小池議員のご質問、「閉校の利用方法について」答弁いたします。

議員のご質問にあるとおり、旧野田小学校、旧上吉影小学校、旧下吉影小学校の3つの小学校と旧小川北中学校が統合され、令和4年4月に小川北義務教育学校として開校したところです。この新しい学校を建設するためには、多くのお金が必要となり、国からの補助金を受けるだけではなく、お金の借り入れも行ったところです。

この借り入れには条件があり、閉校した3つの小学校の校舎や体育館などの建物を取り壊すか、民間企業に売ったり、譲ったりしなければなりません。

建物を壊すためには多くのお金がかかります。議員がご指摘されたように、多くの方が訪れ、地域交流が活性化する場所にするためには、民間企業の進出を促し、残された建物を有効に活用してもらうアイデア募集をしたいと考えております。民間企業のアイデアが地域活性化につながり、実現可能であれば、その企業に土地と建物を使っていただきたいと考えております。

現在、旧上吉影小学校は道路の立地条件が良く、建物も耐震補強がされていますので、新しいまちづくりの計画に基づき、これから民間企業へのアイデア募集を行う予定です。また、旧下吉影小学校は比較的新しい建物ですので、公共施設の計画により今後の活用を考えてまいります。

一方で、旧野田小学校の建物は古く、修理するにもたくさんのお金が必要になるため、校舎や体育館を取り壊さなければなりません。取り壊した後の土地については、地域活性化につながる方法を考えてまいります。

閉校となった学校をどのように活用するかは非常に重要な課題として捉えております。皆さんからいただいたご意見を参考にしながら、地域にとって魅力的な場所になるよう努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。以上、答弁いたします。

質問事項

市を運行するバス事業の拡大について

学校名 堅倉小学校

議員名 ながおか あおい
長岡 碧衣



■質問

私の通う堅倉小学校では、一部の地域でコミュニティバスを利用した登下校が行われています。近年では、コミュニティバスの増便もあり、今まで以上に便利になり感謝しています。しかし、美野里地区を走るバスは一部であり、それ以外の地域では、登校班の編制が難しい場合、保護者の送迎で通学しています。通学に限らず、習い事や買い物などで外出する際も、バスが運行していない地域では、親を頼る必要があります。しかし、多くの家庭は共働きのため、親に多くの負担をかけています。バスの路線がある地域であっても、運行する本数が少なく、乗りたい時間に乗車することが難しいです。また、自転車で移動しようにも、国道沿いは、子どもが安全に自転車で走行できる道路がありません。県道においては、街灯が少なく、道路がせまかったりと、国道同様に安全に自転車で走行できない現状にあります。

以上を踏まえ、私は、コミュニティバスの増便に関する提案をします。まず、現在1時間に1回バスが運行する路線や、1日に2、3回しか運行しない路線があるなど、路線ごとにかなりの差があります。そのため、運行回数の少ない路線や、今より遅い時間帯に増便することをお願いできないでしょうか。また、バスの路線がない地域も多くあり、不便を感じる方が多くあります。そのため、新たに路線を増やすことはできないでしょうか。私たち市民が、安全で快適に生活できるようお願いします。

■答弁【答弁者名：藤枝 修二 会計管理者】

長岡議員のご質問、「市を運行するバス事業の拡大について」答弁いたします。

市では、公共交通不便地域の改善を図るとともに、高齢者や障がい者、児童生徒といった交通弱者が、安全で快適に利用できる交通手段として長岡議員からもありましたコミュニティバス「おみたん号」を運行しております。

この「おみたん号」の令和5年度の実績を申しますと、年間296日間運行しまして、利用者は約46,000人でした。1日当たりでは39便運行しており、平均利用者数は155.9人で、1便当たりの利用者は4.1人と、すこし少なめではございますが、中には時間帯によっては満車で運行されているバスもあり、少しずつではありますが利用者が増えてきて、市内の移動手段として定着してきているものと考えております。

しかしながら、「おみたん号」の運行には多くの経費がかかっております。令和5年度のバス運行経費は約5,600万円かかっております。これに對しまして、運賃収入は約440万円であり、厳しい財政状況での運行となっています。また、令和6年4月からはバス運転手の働き方が見直されまして、労働時間の規制や労働賃金が上昇したことで、運行経費はさらに増加しています。

このような状況にある「おみたん号」ですが、皆さんの意見や利用状況を踏まえ、毎年、改善に向けた見直しを進めております。ただ単に増便することは運行経費の増加につながりますので、各地域の実情に応じた運行を検討していくことが重要だと考えております。

本市では、市内におけるさまざまな公共交通を便利で使いやすいものにし、公共交通が今後も長く維持されるようにするため、小美玉市地域公共交通計画という計画を策定しています。

この計画を基に、引き続き住民の皆さんの声を聞きながら、コミュニティバスをはじめみんなが使いやすい公共交通を目指していきたいと考えておりますのでご理解をいただきますようお願いいたします。以上、答弁いたします。

質問事項

図書館の建設について

学校名 堅倉小学校

議員名 くりはら おうしろ
栗原 桜志朗



■質問

私は本を読むのが好きです。そのため、よく本を買いに行ったり、学校や地域の図書館の本を借りたりしています。私が住んでいる美野里地区には、美野里公民館や羽鳥ふれあいセンターなどの図書コーナーがありますが、蔵書数が十分あるとは言えません。

また、市内にある小川や玉里の図書館についても、他の市町村と比べると規模が小さく、読みたい本が見つからない現状にあります。

また、これまでの子ども議会の中で、他の市町村で採用されている「本を制限なく借りることができる、館内が明るく落ち着いた環境である、子ども専用のコーナーがある」などの条件を満たした図書館建設の要望もありました。その際、図書館建設や環境整備を検討するとのご回答がありました。

以上を踏まえ、次の2つを提案します。1つ目は、独立した図書館がない美野里地区に、蔵書数の多く、より環境の整った図書館を建設することはできないでしょうか。

2つ目は、これまでの子ども議会の答弁や市で課題として挙げられた内容を基に、どのような改善案が出ているのか、具体的に教えていただけないでしょうか。

以上2点よろしくお願いします。

■答弁【答弁者名：島田 幸三 市長】

栗原議員のご質問、「図書館の建設について」答弁いたします。

美野里地区の図書館については、本市としてもこの問題を真剣に考えてまいりました。これを踏まえ、令和6年3月に策定した「百里飛行場新交流拠点整備基本計画」では、美野里地区の羽鳥駅前に図書館機能を持つ新たな交流拠点の整備を位置づけております。

この計画は、本市のまちづくり構想を進めるための基本方針を示したものであり、今後、関係機関と協議を進めながら具体的な検討を進めてまいります。

新しい交流拠点は、駅前という便利な場所に作られ、図書館としての機能だけではなく、行政の窓口や観光案内所、カフェやコンビニなども併設する複合施設として整備する予定です。これにより、地域の皆さんが利用しやすい施設となることを目指しております。

また、これまでの子ども議会での意見や市で挙げられた課題への改善案についてですが、新しい施設ができれば蔵書数を増やすことが可能になります。今ある図書館では、明るい環境づくりとしてテーマに沿った本の展示や季節ごとの飾り付けを工夫いたしまして、快適な空間作りに努めてまいります。子ども専用の部屋は難しいですが、「きつずタイム」を設け、絵本を読んだり、大きな声を出しても気にせず過ごせる時間帯を設けます。

今後は、新しい交流拠点の整備を進める中で、これまでの課題や皆さんからの意見を反映させながら、気楽に立ち寄り、図書に触れ、学ぶことができる環境作りを努めてまいります。以上答弁いたします。

質問事項

歩道のガードレールの設置について

学校名 竹原小学校

議員名 やまざき このか
山崎 好夏



■質問

私は、国道6号線を通して、竹原小学校へ通っています。小学校付近の竹原交差点を曲がり、竹原小学校へ進む道は、登下校の際、多くの児童が利用しています。国道6号は大きな道路のため、ガードレールが設置されています。しかし、6号から竹原小学校へ進む道は、歩道がせまく、ガードレールが設置されていません。カーブが多い道で、学校付近ということもあり、ほとんどの車がスピードを出さずに気をつけて走行している様子が見られます。

しかし、時折スピードを出して走行する車が見られます。私は、登校班の班長で低学年の子たちと登校するため、いつか車がぶつかって来るのではないかと不安に感じています。また、歩道がせまいため、下校の際、前の人を抜かそうと道路にはみ出て走る人も見ることがあります。その時、車は来ませんでしたが、もし車が来てしまったら、交通事故につながる危険があります。

そこで、私たちの安全のために、国道6号から竹原小学校へ進む道にガードレールを設置することを希望します。

これからも多くの子もたちが通る道です。私たちが安全に登下校できるようにどうぞよろしくお願いします。

■答弁

山崎議員のご質問、「歩道のガードレール設置について」答弁いたします。

まず、議員から登下校の状況についてお話をお聞かせいただき、ありがとうございます。登校班の班長として、低学年の子もたちと一緒に登下校する中で、不安を感じている様子につきましても、ご心配をおかけしております。

ご指摘の国道6号から竹原小学校へ進む道は、多くの児童が利用する大切な通学路です。この道は歩道整備がされており、車の速度も30キロに制限されていますが、時々スピードを出す車が通ることがあるため、特に注意が必要となります。

ご要望のガードレールの設置については、通学路の安全を守るためにとても効果的ですが、設置には一定の基準が設けられております。これらの基準に合うかどうかを判断するために、現地調査を行い、道路管理者や教育委員会、警察、地域住民と話し合いをしてから決定しています。ただし歩道や道路幅が狭い場合、ガードレールの設置が難しいこともあります。そのため、道路に描かれたマークや看板、光る板を使って運転者に注意を促す方法で対応しています。国道6号から竹原小学校への通学路については、歩道や道路の幅が狭いため、ガードレールの設置が難しいことから、皆さんが安心して登校できるように、注意を促す看板や光るポールを設置する方法で対応したいと考えております。

また、市では各学校における通学路の安全対策として、PTA活動等を通じて危険箇所の情報を教育委員会と共有した「小美玉市通学路交通安全プログラム」に基づいて、安全で安心な通学路の確保に努めております。議員におかれましても、危険な箇所を見つけた際には、ぜひ学校に報告していただければと思います。

今後とも、子どもたちが安心して学校に通学できるように、安全対策に努めてまいりますので、議員におかれましても登下校に関する学校の約束事や交通ルールを守り、安全な登下校をお願い申し上げます。以上、答弁いたします。

質問事項

羽鳥駅周辺に置かれている自転車について

学校名 羽鳥小学校

議員名 ささき まさのり
佐々木 雅恭



■質問

私は羽鳥駅周辺に置かれている自転車について質問します。
私の祖母は羽鳥駅近くに住んでおり、よく遊びに行くのですが、東口近くの通路を通ると、駐輪場ではないところに自転車がたくさん停められており、運行の妨げになっていると感じます。私自身も、通りにくいと思ったことがあります。

また、そのような状況だと、景観が悪くも感じます。もし車いすの方やベビーカーを使う方が通行しようとする就非常困難に感じますし、万が一倒してしまったらケガや事故につながると考えると心配です。だれもが安全に快適に歩くことができるようにするには、迷惑自転車の撤廃が必要不可欠であると考えますが、そのような迷惑自転車への対処はどのようにしているのでしょうか。

また、歩道に停める自転車が増える要因として、駐輪場に入りきらず、やむなく歩道に停めている方もいらっしゃると思うのですが、今後、駐輪場を広くする予定などはあるのかも併せて教えていただきたいと思います。以上、答弁を求めます。

■答弁

佐々木議員のご質問、「羽鳥駅周辺に置かれている自転車について」答弁いたします。

まず、迷惑自転車の対応についてですが、議員ご指摘のとおり、羽鳥駅周辺には、歩道などにたくさんの自転車が停められている状況を確認しております。こうした迷惑自転車によって、歩行者、特に車椅子やベビーカーを使っている方、目の不自由な方などは大変困っています。また、火災や地震などの災害活動などの妨げになるほか、駅周辺が雑然としてしまい景観にも悪い影響を及ぼしております。

市では、こうした迷惑自転車対策として、注意看板を設置して、自転車の所有者にマナーを守るよう呼び掛けを行っているほか、駅周辺のパトロールの際に歩道などに停めてある自転車を駐輪場内へ移動させたりしておりますが、依然として迷惑自転車は無くならない状況が続いております。

また、駐輪場内にも長期間使用されず放置されている自転車がたくさんあります。こうした放置自転車については、所有者を調べて取りに来てもらうこととなりますが、所有者がわからない自転車や引き取りに来ない自転車は毎年60台くらいあり、それらは市が処分を行っております。

次に駐輪場を広くする予定についてですが、羽鳥駅は毎日約2,000人の方が通勤や通学などで利用しています。市では、駅まで自転車を利用する方のために、駅の西口と東口にそれぞれ2か所ずつ、計4か所の無料駐輪場を整備しています。特に、駅東口にある駐輪場は約250台の自転車を停めることができるなど、十分な広さを確保していると考えていますので、現在のところ駐輪場を広げる計画はありませんが、迷惑自転車を減らす対策として、駐輪場の使い易さなどについて検討していきたいと考えております。

しかし、こうした迷惑行為は、自転車利用者のマナーが一番の原因と思われます。他人に迷惑がかかっていることがわからない人がいるということは大変悲しいことです。市内の小学校では、自転車安全教室などが行われていると思いますが、皆さんも、そうした中で安全運転や自転車利用のマナーについて学び、安全で快適なまちづくりにぜひ協力してください。

市としましては、これからも根気強く駅周辺の迷惑自転車対策に取り組み、安全で快適な環境づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。以上、答弁いたします。

講評



学校長会 会長
よしなが しげのり
吉永 成範

小美玉市校長会の吉永成範と申します。

市内の校長先生方を代表して、私から講評を述べさせていただきます。

まず本日、令和6年度第18回小美玉市子ども議会に参加した皆さんが、堂々と質問をしている姿を見て、大変頼もしく思いました。そして、今回の子ども議会の質問には、小学校の授業で学習した成果が十分に現れていたと思いました。ここで皆さんがすばらしい点を2つお話ししたいと思います。

一つ目は、皆さんが、国語で学んだことを生かして、分かりやすく、筋道を立てて自分の考えを伝えることができたことです。これからの社会は自分の考えをいかに分かりやすく発信できるか、相手にうまく伝えられるかが大切になってきます。どんなよい考えを発言しても、相手に伝えられなければ意味がありません。しかし皆さんは、今日の質問を見ていると、とても分かりやすくできていました。表現力がすぐれていると感じました。

二つ目です。皆さんが、社会科や総合的な学習の時間に学んだ行政に関わることを、これを基に、身近な生活を振り返り、自分との関わりで考え、よりよい地域社会をつくっていくという視点で質問を考えることができていたということです。皆さんが質問した内容は、安全安心に関わること、教育に関すること、小美玉市の活性化に関すること、そしてよりよい暮らしに関することなどでした。皆さん一人一人が、自分も地域社会の一員であるという意識をもって質問できたことは、とてもすばらしかったと思います。

皆さんは間もなく中学生ですね。よりよい地域社会にするためには自分何ができるか、ということを考え、そして、まちづくりに積極的にこれから関わっていくことを、皆さんのこれからの期待したいと思います。

結びになりますが、島田市長様をはじめ小美玉市関係部局の代表の皆様、長島議長様をはじめ議会事務局の皆様、本日、子ども議員の質問に丁寧に答弁していただきましたことに深く感謝申し上げます。また、開催にお力添えをいただきました篠根会長をはじめ青少年を育てる小美玉市民の会の皆様、生涯学習課の皆様に、重ねて御礼申し上げます。

小美玉市の子どもたちが、今後も、このような貴重な経験ができることをお願い申し上げます。講評とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

感想文

児童からの感想を原文のまま掲載しております

壁を乗り越えて

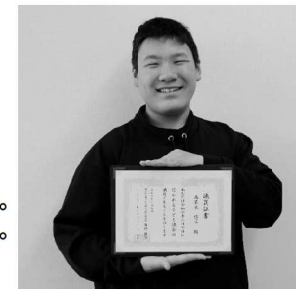
羽鳥小学校 高草木 悠斗

ぼくが子ども議員になってみようと思った理由は、自分の中にあるトラウマをこく服したかったからです。ぼくは、5年生の時の運動会で実行委員をやりました。開会式であいさつを任されていたのですが、きん張で言葉を忘れてしまい、1～2分ほど沈黙が続くということがありました。それから大勢の人の前で話することが苦手になりました。

子ども議員の話聞いた時、兄も子ども議会を経験し、どのような感じかは少し聞いて知っていたので、これは自分に自信をもつチャンスだ！と思いちょう戦してみることにしました。

当日、たくさん練習をしたおかげで、きん張もあまりせず、原こうも見ずに質問をすることができました。練習の成果を発揮できてよかったです。また、後半は議長となりました。たくさんの人に見られている中話すことは、とてもよい経験となりました。

今回の子ども議会で、普段入ることができない場所で、市長さんや市の職員の方々や他の学校の先生、保護者の前で発言することができ、ぼくの中の壁を1つ乗り越えたような気がします。この経験を今後の生活にも生かしていきたいと思います。



子ども議会の経験を通して

羽鳥小学校 佐伯 真臣

私は、この子ども議会ですばらしい経験をさせていただきました。質問をする順番が2番目で、すごくきん張しましたが、最初の議員さんが上手にできていたので、自分もがんばろうと思えました。名前をよばれたときには、「きっと大丈夫」という思いでしたが、いざ質問席に立ってみると、きん張で頭が真っ白になってしまいました。しかし、何とかあまり台本を見ずにハキハキ話すことができました。また、市の職員の方の答弁がとても分かりやすく、勉強になりました。自分が質問した後は12人の質問と答弁を聞きました。どれも私とはちがう視点で質問されていて、参考になりました。答弁してくださった方も、全員の14個の質問にしっかりと答えていて、小美玉市ではどう対策をするのか、今後どうしていくのかが良く分かりました。

私が、この子ども議会を通して学んだことは、歳や立場は関係なく、良い意見はどんどん取り入れた方が良いという事です。私は、本番の前、私たちが言ったことをあまり取り入れてはくれないのかなと思っていましたが、全然そんなことはなく、いろいろな人の意見を取り入れようとしてくれていたので、すばらしいと思いました。私は、この経験を通して、最初からあきらめず、良いと思った事は積極的に発信しようと思います。すばらしい経験をさせていただいたことに感謝しています。ありがとうございました。



子ども議会の思い出と知れたこと

小川南小学校 村山 凰希

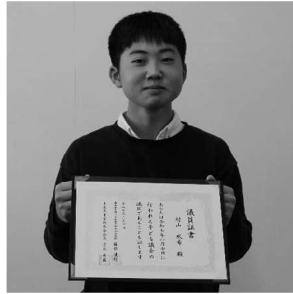
ぼくが、子ども議会で思い出に残ったことは、議員として質問できたことです。

なぜなら、ふだんは入ることのできない議会の会場に入ることができて、初めての会場におどろいたこと、きんちょうしながら自分が疑問に思ったことをしっかりと質問できたこと、そしてその質問にととてもいねいに答えてもらい、うれしかったことの3つが心に残っているからです。また、子ども議会を通していくつかのことを知ることもできました。

1つ目は市が行っていることについてです。今までは全く知らなかった小美玉市議会のしくみや、選挙で選ばれた議員の人たちがどんなことをしているのか、そして小美玉市は市をより良くするために福祉や防災などに具体的にどんなことをしているのかについて知ることができました。

2つ目は小美玉市の問題です。自分の質問のほかにも、各議員が小美玉市の問題について質問、提案をしていました。答弁で対策をしていると言っている問題もありましたが、実現が難しいと言っている問題もあったので市にはがんばってほしいと思っています。

小川南小の代表としてこのような貴重な体験をさせていただいてとてもほころしく思っています。



子ども議会を通して

小川南小学校 戸塚 大智

ぼくは、子ども議会を通して学んだことが3つあります。

1つ目は色々な意見をもっている人がいるということです。福祉サービスの充実についてや小学生の海外研修の機会づくりについて、小川商店街の活性化についてなどさまざまな意見が出ていました。このように色々な意見が聞けて楽しかったです。

2つ目は1人1人の意見をしっかりと答弁してもらった事です。子どもの意見だからではなく市をよりよくするための意見としてしっかりと受けとめて答弁をしてもらいました。ありがとうございました。

3つ目は小美玉市議会議員のみなさんがいつもどれだけ大変な思いをされながらやっていることがわかったことです。質問席に立ってみてすごくきんちょうしました。ですが議員のみなさんは小美玉市を良くするためにいつも話し合ってくれていることを知りました。

このような貴重な体験をさせていただいたことで市についてたくさんのことを学びました。この体験を生かして小美玉市の市民として役だてるようがんばります。ありがとうございました。



子ども議会に参加して

小川南小学校 八文字 咲

私は、今回子ども議会に参加して、色々なことを学習することができました。

子ども議会の議員ひとりひとりの質問や提案に対し、丁寧なわかりやすい回答を頂きました。今回私が質問した内容は、車いす送迎車の貸し出し台数についてと高齢者の外出の機会を増やす取り組みについてでした。その質問に対し、車いす送迎車の台数については、小川地区に1台、玉里地区に1台、美野里地区に2台設置しており、今後もっと台数を増やす検討をしているという回答を頂きました。そして、高齢者の外出を増やす取り組みについては、タクシー券を配っているとの事でした。私はこの回答を聞いて、高齢者の為のサービスに前向きに取り組んでいる事が分かり、とても安心しました。私は高齢者の為のサービスについて興味を持ち、自宅で調べてみたところ、お買い物ツアーやふれ合い給食などの外出の機会を増やすための取り組みを他にもしていることを知りました。お買い物ツアーやふれ合い給食では、高齢な方々などの買い物の支援をしたり、他の方との交流の場をつくったりして、閉じこもり防止につながっているという事におどろきました。

私の祖父母も小美玉市に住んでおり、このような充実したサービスがあれば、安心な生活ができると思います。今回、小美玉市子ども議会を通して学んだことを祖父母に伝えて、安心な生活を送ってもらいたいです。また、子ども議会に参加して、小美玉市についてよく知る良い経験ができ、とてもうれしいです。



子ども議会に参加して

納場小学校 依田 純玲

子ども議会に参加して、一人一人の議員からいろいろな提案を聞くことができました。私は生まれてから12年間ずっと小美玉市で生活していますが、知らなかった課題がたくさんあることに気がきました。

例えば、「小美玉市の文化遺産を紹介するためのリーフレットなどを作成するべきだ。」という提案を聞き、観光客にも地元の人にとっても役立つからぜひ作るとよいなと感じました。その一方で、小美玉市には素晴らしい文化遺産がたくさんあるのに、私はそれをほとんど知らなくてもったいないと思いました。知らないことは、よりよく改善しようと提案することもできません。まずは、小美玉市についてよく知ることが大切だと感じました。

社会の授業で、選挙で選ばれた議員が市のことを話し合い、市をよくしていくと学びました。6年後、私も選挙に参加できる年れいになります。今、若い人の投票率が下がっているとよくニュースで聞きます。私はしっかりと選挙に参加して、小美玉市のために市をよりよくしてくれる議員を選びたいという思いを強くしました。

今回、子ども議会に参加したことで、小美玉市についてもっと知りたくなったり、問題を解決してよい市になってほしいと思ったりするなど、参加する前に比べて小美玉市について関心をもつようになりました。貴重な経験をすることができました。子ども議会に参加できて本当によかったです。ありがとうございました。



子ども議会で得た学び

納場小学校 白倉 緋夏

私は、子ども議会に参加して、感じたことがたくさんあります。

1つ目は、他の子ども議員の方々の考えに対してです。私は、緊張してつい早口になってしまったり、間違ったりしてしまうことがよくありました。しかし、他の子ども議員は、堂々と大きな声で真剣に考え、良くしたいという強い意志を感じて感動しました。

2つ目は、議員の方々に対してです。初めは、ただ意見文を読むだけで、それほど難しくないと思っていました。しかし、実際に質疑をしてみると、多くの人達の前で話すのはとても緊張して、台詞を忘れてしまったり早口で話してしまったりと、難しいことが多く、とても大変なことがわかりました。だから、答弁や質疑をよく行っている議員の方々はすごいなと尊敬しました。

3つ目は、小美玉市の課題や問題に対してです。初めは、小美玉市の問題について知らないことが多く、身近に感じるものが少なかったと感じます。しかし、他の子ども議員の思いや、その質疑に執行部が答弁していく様子を見て、小美玉市には様々な問題や課題があると同時に、その問題や課題を解決するため、市の職員の方々が日々努力していることが分かり、とても勉強になりました。

最後に、子ども議会に参加するという、貴重な経験をさせてくださった関係者の皆様にとっても感謝しています。ありがとうございました。



子ども議会で気づいたこと

竹原小学校 佐藤 テミ

私は、子ども議会を通して、たくさんのことを学びました。きん張や不安などのさまざまな感情があふれ出ましたが、自分の成長にも気づくことができました。

それは、大勢の人の前でしっかりと、そしてはっきりと話すということです。私は、今年受験をしました。

入試の内容に面接試験があり、約8人の前で話をしました。しかし、子ども議会では、大勢の人前で話すことになり、質問をする際にとてもきん張しました。それでも、勇気を出してがんばって質問をしました。途中でかんでしまいました。無事最後まで言い切ることができました。

そして話し終え、席に座ると、一気にきん張がほぐれました。そこで私は、大勢の人前で話すことがどれだけ大変なことが学べてよかったと思いました。

この体験をしたことで、少しばかりきん張しても、今までしっかりと、そしてはっきりと大勢の人の前で話すことができるという大きな自信がつかしました。

中学校でも大勢の人の前で話すことがきっとあると思います。もし、その時にきん張してしまっても、子ども議会を通してついた自信を思い出して、堂々と話すことができたらいと思います。また、今回ついた自信を基に、生徒会に入るなどの新しいことにたくさんチャレンジしてみたいと思います。

市議会の皆さん、この貴重な体験や時間をお忙しい中、設けていただき誠にありがとうございました。この子ども議会を通して学んだことを基に、これからの社会で活やくしていきたいです。



子ども議会に参加して

玉里学園義務教育学校 小沼 かえ

私が子ども議会に参加して良かったと思うことは3つあります。

1つ目は、ほかの人の意見を聞くことができたことです。ほかの人が発表するときの表現のしかたが、相手に伝わりやすくするためにたくさん工夫されていました。それがとてもすばらしかったのでこれから参考にしようと思いました。

2つ目は教科書で学習したことをじっさいに体験できたことです。私は、社会科の学習で、国のことについて国会で話し合いをしていることを学びました。私も子ども議会で話し合いをしたことで政治に参加しているような気持ちになりました。

3つ目は、知りたかったことが答弁でくわしく知れたことです。私は、税金の使い道やその決め方について質問しました。それについて答弁でくわしく教えてもらったので、税金についてこれまで以上に知ることができました。

私は、みんなに、子ども議会であったことをつたえて、みんなが小美玉市をよくするように意見が言える市にしたいです。



子ども議会に参加して

玉里学園義務教育学校 樋口 凜

私は令和7年2月7日に第18回小美玉市子ども議会に参加しました。

私は、小美玉市の伝統文化・文化財について質問しました。今後に受けついでいきたい行事や文化財を他の地区や市外の方々に知ってもらうために、マップやリーフレットを作り配布するのはいかがかという意見を述べました。発表する前はドキドキしたけれど、実際に質問席で話すと冷静になり、緊張しないで楽しみながら述べることができました。私の述べた意見について、答弁の中で取り入れてくださり、うれしかったです。また、他の子ども議員のみなさんもそれぞれ自分の身近なことにに関する意見を発表していました。なかには発表している際に手を使って表現したり、何も見ないで話したりしている方もいてすごいと思いました。他の子ども議員の方々の意見の中には、今まで自分が気づかなかった事柄について述べられているものも多く、自分の地区以外のことも知ることができる貴重な機会となりました。

今回子ども議会に参加させていただいて、自分が多くの人の前で意見を述べるといことは緊張したけれど、いざ発表すると楽しかったです。小美玉市の魅力を他の地区や市外にも伝えていくためには、小美玉市に昔から伝わるものをより多くの人に知ってもらい、みんなで大切に守り受け継いでいくことが重要だと思います。今後私が発表した意見が反映され、小美玉市に貢献できたらうれしいです。



子ども議会に参加して

小川北義務教育学校 櫻井 伶音

子ども議会が始まる時はとても緊張したけれど、市民の会や市の職員の方たちがたくさん話しかけてくれたり、ストレッチをみんなで行ったりして、緊張をほぐしてくれました。子ども議会が始まると、他の学校の人たちの質問はとても詳しく、素晴らしい内容ばかりだったので、自分の意見を上手に言えるかどうか不安でしたが、今まで練習してきたことを思い出して自信をもって発表することができました。

子ども議会では、限られた人しか参加することができない貴重な経験ができました。他校の人たちの意見や発表の仕方などを見て、堂々と発表する姿や身振り手振りを交えて話している姿が印象的でした。また、子ども議会のことを周囲の人に話して、地域のイベントなどに積極的に参加できるようになることや、たくさんの方が政治に興味を示して、参加・協力できるように、子ども議会を出した意見が実現できると良いと思いました。子ども議会を通して小美玉市には、たくさんの魅力があるだけでなく、課題や問題もあることが分かったので、小美玉市のことをもっと知りたいと思いました。なかなかできない体験ができてとても嬉しかったです。

今後このような機会があった時には同じようにできると良いと思いました。答弁をくださった市役所執行部の方たちは私たちよりずっと前から小美玉市のことを考え、準備してくれていたと思います。感謝の気持ちとともに、少子高齢化が改善されるように、私が18歳になったら、選挙などにも率先して参加し、今みなさんがしてくれているように小美玉市のために力になりたいです。



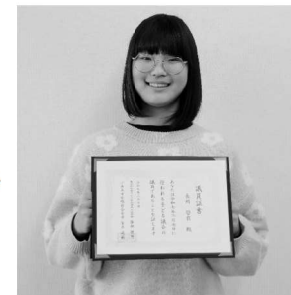
子ども議会に参加して

堅倉小学校 長岡 碧衣

私は、子ども議会に議長として参加させていただき、とても貴重な経験をすることができました。私が特に驚いたことは、議会に関わっている人が予想よりも多かったことです。市議会の方々がサポートしてくださると聞いていましたが、様々な部署の方々が関わっていて、議会がどれだけ重要な役割を担っているのかを改めて実感することができました。

議長として前半の議会を進行した際、初めは緊張で周りを見る余裕がありませんでした。しかし、場の雰囲気になだんだんと慣れ、周りが見えるようになった時、質問者や答弁者だけでなく、それ以外にも多くの方が関わっていることが分かり、議会での話合いの大切さや、市をよりよくするための大変さに気付くことができました。また、私が質問をした際、答弁者の方が小学生の質問にも真剣に向き合い、丁寧な表現で回答を伝えてくださったため、とても嬉しくなりました。

今回、子ども議会の議員に立候補し、小美玉市のことをよりよくしようと考えている方々がたくさんいて、議会のような話し合える場がとても重要であることに気付くことができました。今後は、小美玉市民の一人として、私にできることから少しずつ取り組んでいきたいと思いました。



子ども議会を通して感じたこと

小川北義務教育学校 小池 望結

私は今回、子ども議会に出席した際、思ったことが2つあります。

1つ目は、「質問の仕方」です。私は、相手に聞こえやすく、分かりやすく伝えるために一つ一つの言葉を丁寧に発言するように心がけました。しかし、他の学校の皆さんの質問を聞くと、ジェスチャーを使ったり、声のボリュームを調節したりと、自分の質問内容をより上手に伝えている人が多くいました。また、特に伝えたいところはしっかり止め、より相手に伝わるように話している人もいて、自分と似ているところやよりよい伝え方を知ることができました。

2つ目は、「たくさんの新しい体験」です。今回初めて子ども議会に出席したので、驚いたことがたくさんありました。議場は想像していた以上に広く、国会議事堂のように感じました。次に、執行部の方々何名かが同じ言葉を使っていることに気付きました。それは、「ダイヤモンドシティ・プロジェクト」です。答弁で「ダイヤモンドシティの実現に努めていきたい」とおっしゃっている方が多くいらっしゃいました。私は、空の駅そ・ら・らや茨城空港で、ダイヤモンドシティのポスターをよく見かけます。それに少しでも私たちが関わっていることをうれしく感じました。

普段お会いできない市役所の執行部の方々、そして他校の人たち。子ども議会ではできない貴重な体験をさせていただき、新しい発見ができました。期待していた答弁ではなかったけれど、少しでも小美玉市がもっと暮らしやすくなるよう、これからもお手伝いしていきたいです。



子ども議会に参加して

堅倉小学校 栗原 桜志朗

私は、先日小美玉市役所で行われた子ども議会を通して感じたことが2つあります。

1つ目は、議会の重要性です。これまで私は、議会に興味をもったことがありませんでした。学校の授業では、市を運営するために必要な仕組みであると学習しましたが、自分にはあまり関係のないことだと思っていました。しかし、今回の子ども議会に参加したことで、議会で話し合う議題は、私たちの生活にとっても関係していることが分かりました。また、市をよりよくすることは、私たちが生活している美野里地区をよりよくしていくことにもつながるのだと気付きました。議会は、私が想像していた以上に大切な役割を果たしているのだと実感しました。

2つ目は、人前で堂々と質問することの大切さです。私は、今回の子ども議会でも最後の質問者でした。そのため、他の質問者が質問している間、とても緊張し、心臓がドキドキしました。しかし、いざ自分の番が来て質問を始めると、だんだんと緊張が和らぎ、落ち着いて質問をすることができました。質問の答弁者は、小学生の私にも分かりやすい言葉で、丁寧に説明してくださりました。そのおかげで、回答内容をしっかりと理解することができました。

今回、子ども議会という貴重な経験をさせていただき、とてもありがたいことだと思いました。この経験を通して、今後は、これまで意識していなかった美野里地区や小美玉市で取り上げられている課題に目を向けて、私にできることに取り組んでいきたいです。



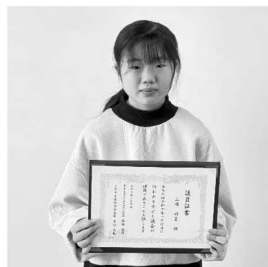
子ども議員にインタビュー

竹原小学校 山崎 好夏

質問事項「歩道のガードレールの設置について」

Q. 今回の質問をどう考えましたか

登校班の班長をしていて、道がせまくて危険だと思ったので、それをきっかけに考えました。



Q. 質問を考える中で、気づいたことや初めて知ったことはありますか

実際に歩道の安全性を考えて通学路を歩いてみると、ガードレールがあるとところとないところを歩く時の安心感が違うことが分かりました。

羽鳥小学校 佐々木 雅恭

質問事項「羽鳥駅周辺に置かれている自転車について」

Q. 今回の質問をどう考えましたか

羽鳥駅周辺には、放置自転車が多く止まっており、通行するのに危ないと思いました。放置自転車をなくすことができれば安全になると考え、今回の質問を考えました。



Q. 質問を考える中で、気づいたことや初めて知ったことはありますか

多くの場所に「撤去する」と書かれていたのですが、あまり守っていない人が多いように感じました。

当日の様子





子ども議会の様子が映像でご覧いただけます

・二次元コードから

右記の二次元コードから視聴できます。

・小美玉市議会HPから

①市議会HPから「議会中継」を選ぶ

▶市議会HP <https://gikai.city.omitama.ibaraki.jp>

②タブが令和7年になっていることを確認

③「令和6年度子ども議会」を選ぶ

④「02月07日 子ども議会」から視聴いただけます。

※どちらの方法からでも同じサイトに繋がります。

第18回子ども議会
録画配信ページ



発行日 令和7年3月

発行者 青少年を育てる小美玉市民の会
健全育成部会

事務局 〒311-3492 茨城県小美玉市小川4-11
小美玉市教育委員会生涯学習課
電話 0299-48-1111

発行日 令和7年3月

発行 青少年を育てる小美玉市民の会 健全育成部会